

2024年度 自己評価報告書

学校法人カトリック・マリスト会学園

認定こども園 葛カトリック幼稚園

1. 本園の教育・保育目標

カトリック精神に基づいた「愛の精神」を、幼児の人格形成の基本におき、将来にわたって主体的に生きる人となる基礎を養う。

思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども、自分で考え行動し最後までやり遂げる子ども、隣の人を大切に自分も大切に作る子どもに育つことを目標とする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 保育の質の向上のための職員研修
- ・ 健康と安全及び施設の整備

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
・ 保育の質の向上のための職員研修	・ 個々に取り組む研修に加え、職員で共通の研修を受けることによる保育の質の向上に取り組んだ。 ・ モンテッソーリ教育の研修、教具の提示と先生の態度、子どもの発達や一人一人の「子どもがまんなか」を守る幼児教育等学んだ。 ・ 発達過程に則した援助の在り方、とらえ方について全職員で周知した。 ・ 担任外の職員についてもチームとしてそれぞれが役割を担い、よりよい園を目指した体制づくりを行った。 ・ モンテッソーリ教育における、子どもをどう見るかという見方と、どう助けるのかという助け方から、一人一人の育ちにあった関わり方や言葉がけについて常に話し合った。 ・ 研修や実践を通して個々においても積極的に取り組む事ができた。 ・ 子どもたちが直接体験を通して興味を持つことや、達成感を味わうことのできる環境づくりについて考えていきたい。
・ 健康と安全及び施設整備	・ 「危機管理マニュアル」を見直しながら確認した。 ・ 登園時には視診を大切にし、体調について確かめている。 ・ 感染症の流行や、園での欠席者の状況を「保健ニュース」として保護者に伝え注意喚起を行う。 ・ 月1回の給食会議にて、ヨゼフホームと共に、アレルギー食提供への配慮や安全に配慮した食事の配膳について、共通理解を深

	めた。 ・ 保育中のケガとその対応について職員間で確認し合う。 ・ 道路に面している駐車場のブロック塀を、見通しの良いフェンスに変える工事を行った。 ・ 昨年度同様に、木製遊具で細かな棘が刺さる事があり、目視で気づけない箇所もあるため、表面を磨く作業を依頼した。 ・ 週一回、ねじや器具を使って用具、遊具を点検している。 ・ 大雨や集中豪雨の際、樋から雨水があふれるため、樋の清掃を定期的に行う必要がある。 ・ 幼稚園ホールの照明器具を LED に交換。 ・ 配膳室のエアコン 1 台の入れ替え。
--	---

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

良	「思いやりと感謝の気持ちを持つ子ども」「自分で考え行動し最後までやり遂げる子ども」「隣の人を大切に、自分も大切にする子ども」という教育・保育目標のもと、基本的な生活習慣を大切に取り組むことを大切にしている。 縦割り保育の中で豊かな社会性を身につけ、一人一人の子どもが自立へと向かうよう援助する共通意識を持っている。 預かり保育における保育内容の充実に取り組む。
---	---

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全	自然が豊かであると同時に、虫さされ対策や、広範囲の除草作業が課題である。
2 歳児保育	縦割りクラスへの移行について、園児が安心してスムーズに上がれるよう配慮していく。

6. 関係者の評価

・ 幼稚園でのたくさんの体験を通して子どもたちが自分で考え、感じる事が自信につながりました。また、大人の思う物事の正誤ではなく、子どもたち自身の気づきを大切にしてくださいました。 ・ 日本の慣わしや四季を感じることが出来る工夫があり、日々の生活の中で、文化や季節の移ろいを子どもたちなりに自然に捉えることができました。 ・ 行事や体操では、子どもたちで話し合ったり、アイデアを出し合いながら作り上げる機会が多く、考える力が育ち、生き活きとした姿もみられました。 ・ 毎日のお祈りを通して、人を思いやる心や感謝する心を感じる事ができました。
＜保護者代表＞